

『さがしものは何ですか？』 作…岩本憲嗣

■登場人物

松坂祇晶 (55) おもちゃ会社社長
松坂泰助 (4) 松坂の孫
西口和博 (23) 暴走族のリーダー
松坂まこ (20) 松坂の娘・女優
豊田幸二 (17) 西口の子分
河原勤 (38) 松坂の秘書

○多摩湖湖畔

松坂祇晶(55)が釣りをしている。隣で松坂泰助(4)が恐竜のおもちゃで一人遊びをしている。

松坂「ああ！駄目だ駄目だ！こいつが悪い！」

松坂釣竿を放り投げる。驚く泰助。

松坂、専用のバッグに入った何十本もの釣竿から一本を選び釣りを始める。

泰助、釣りに夢中になっている松坂をみてその場を去る。

○多摩湖湖畔

湖の浅瀬で恐竜のおもちゃを浮かべて一人で遊ぶ泰助。いきなり立ち上がり辺りを見回した後で立ち去る。

○多摩湖湖畔沿いの道路

猛スピードで走るド派手なバイク。

○多摩湖湖畔沿いの道路

泰助が走ってやってくる。道路の向こう側に公衆トイレを見つける。

道路を駆けて渡ろうとするど派手なバイクが猛スピードで突進してくる。バイク、泰助を避けようとして転倒。

泰助、尻餅をつく、手に持っていた恐竜が路肩まで飛んで行く。バイクに乗っていた西口和博(23)がフルフェイスのメットを外し左脚を引きずりながら泰助に歩み寄る。

西口「おいガキ!!」

歩み寄る西口をじっとみつめる泰助

西口「どこに目え……な、なんだその態度は」

睨み合う二人。その背後を何台もの車が通り過ぎていく。

西口、視線に耐えかねて視線を外す。

西口「と、飛び出すんじゃねえぞ、アホ」

泰助に背を向ける西口。恐竜に気づく

西口「おまえのか?」

脚を引きずりながら恐竜を拾いに行く。

誤って恐竜を蹴飛ばしてしまう。恐竜はそのまま湖へと落ちる。

泰助「あ」

西口「……こ、こんなところに置いとく方が……」

泰助、西口の左足を思いつき蹴って走り去る。

西口「痛っっ!!」

西口、左脚を押さえながら振り返ると泰助はもういない。

○松坂トイズ社長室（朝）

部屋中におもちゃが転がっている。

泰助が恐竜のおもちゃで遊んでいる。

沢山の冊子を抱えた松坂が入ってくる。

松坂「ハッピーバースデー！さ、タイちゃんどれがいい？」

松坂、泰助の前で冊子を開くとそこには沢山のおもちゃの写真。

松坂「ウチはおもちゃなら腐るほどあるから」

泰助、目の前の冊子を閉じる。

泰助「いらない」

松坂「ん？気に入ったのがないか？じゃ何が欲しい？おじいちゃんに言ってみな」

河原勤(88)が雑誌を片手に慌てて来る。

河原「社長！社長っ！！」

松坂「河原？ノックぐらいしたら……」

河原「ああスママセン。そ、それよりコレを」

河原、松坂に雑誌を渡す。

松坂、雑誌の付箋のついたページを開くと『松坂トイズ社長令嬢・グラビア女優の松坂まいに隠し子発覚？』の見出しと数枚の写真。

松坂「ふん、見たくない顔がいるな」

松坂、雑誌を床に投げ捨てる。

河原「お嬢様はこの記事の事……」

松坂「知るか！それよりタイちゃんの誕生……」

泰助、床に落ちた雑誌を拾い記事をじっと眺めている。

松坂「ああ、こんな下らないものは……」

松坂、慌てて泰助から雑誌を取り上げるとそこには『多摩湖に出現？恐竜タッシー』の見出しとネッシーのような首長竜のピンボケ写真。
それを必死に奪い返そうとする泰助。

松坂「……そうか、……河原出かけるぞ」

○多摩湖畔沿いの道路

ド派手なサイドカー付のバイクが走る。
反対車線を長いリムジンが通って行く。

○多摩湖畔・広場

ウェットスーツを着た何十人もの人は何列にもなり整列している。
拡声器を持った松坂が踏み台に上がる。

松坂「これから諸君にはコレを探してもらおう」

河原が拡大した首長竜のピンボケ写真を高く掲げる。

松坂「タッシーだ。あくまでタイちゃんへのプレゼントだ！必ず生捕りするように！」

○多摩湖畔

サイドカーのシートに脚を投出して座る西口。脚はギブスで固められている。
隣で水着姿の豊田幸二(18)が準備体操をしている。

豊田「西口さん、いつまでこんなこと…」

西口「みつかるまでだバカ野郎」

○多摩湖棧橋付近

幾つものテントが張られている。
一列に並んだウェットスーツが一斉に湖に飛び込んでいく。
眺める松坂。隣で一人遊びする泰助。

河原「はあ、なんでこんなことしないと…」

○テレビ局楽屋(夜)

過剰にセクシーな服装をした松坂まい

(20)が入ってきて大きいため息をつく。

机の上の雑誌に目をやりさらにため息。

携帯電話をとり電話をかける。留守番電話案内のアナウンスが流れる。

もう一度電話をかける。

○多摩湖栈橋付近(夜)

一人遊びをしている泰助。泰助のポケットから恐竜の鳴き声の着信音が鳴る。

携帯を取り出し慌てて電話にでる。

泰助「もしもしママ？ママ？今日は帰って…」

まいの声「泰助？ごめんおじいちゃんに代わって」

泰助「え？あ、うん……」

泰助、携帯を松坂の所に持っていく。

松坂「うん？おじいちゃんに？(携帯をとって)もしもし？」

まいの声「父さん？ちよつと雑誌の……」

松坂「知ってる」

まいの声「知ってるの？だったらどうにかしてよ、どこから漏れたの？カズ君と一緒に

写真まで載ってたじゃない」

松坂「カズ君だ？ああお前よりバイクを選んで消えたクソガキのことか」

まいの声「そんな言い方ないでしょ？あの時はまだ泰助の事しらなかったんだしさ」

松坂「知るか！そもそもガキがガキをだな…」

まいの声「もう！どうでもいいから圧力かけてもみ消してよ！折角仕事上手くいって

たのにさ、仕事なくなっちゃうよ！！」

松坂「それより仕事早く終わらせろ。親なら今日くらい……」

まいの声「はいはい分かっています」

松坂「じゃ、すぐに多摩湖に來い。車寄こす」

まいの声「多摩湖？は？」

松坂「待ってるからな」

電話を切って置く松坂。泰助それを取る。

泰助「ママ？ママ？」

花火の打ち上る音。夜空に大きな花火。
花火の明りに照らされて、ずぶ濡れの何十人ものウェットスーツの姿が浮び上がる。
先頭には河原。

河原「社長、やっぱりみつきありません」

○多摩湖畔（夜）

龍の刺繍の入った海パン姿の西口が 準備体操をしている。隣にはバスタオルに包
まって花火を見る豊田。

豊田「遊園地の花火大会始まったんですね」

西口「無駄口叩くな。いいか？俺の負けは西埼玉暴走連合全体の負けなんだよ！今日こそ

はみつけるまでやめないぞ」

豊田「あの、その負けて何になんですか？」

西口「何度言わせるんだ馬鹿野郎！……メンチに切りあいだよ。…チクシヨウ、アイツ度胸
が座ってやがる、只者じゃねえ」

豊田「はあ、で、その恐竜のおもちやっつてのみつけてどうだっていうんですか？」

西口「リベンジしないとイケないだろ？でも会うのには理由があるだろ？」

豊田「はあ？あ、ちよつと西口さん！」

ギブス姿のまま湖に入っていく西口。

豊田「ギブス水面に浮いちゃうんでしょ？溺れないでくださいねー！！」

○多摩湖湖面（夜）

松坂・泰助・河原がボートに乗っている。

河原「社長、そろそろ帰りませんかと色々……」

松坂「うるさい！いいかタイちゃん、おじいちゃんが恐竜を釣りあげてやるからな」

恐竜の着メロが鳴る。泰助電話に出る。

泰助「ママ！？」

まいの声「泰助？おじいちゃん！！」

泰助、しょんぼりと松坂に電話を渡す。

松坂「やっと着いたか？これから恐竜を…」

まいの声「父さん？バイク！カズ君のバイクが止まったよ！入口のトコ！ねえ！！」

松坂「はあ？いいから早く……」

一際大きな花火が打ちあがる。

泰助「あ！！！」

花火の明りで湖面が一瞬明るくなる。そこには写真の首長竜のシルエットに見える西口の姿。

ボートから身を乗り出して見る泰助

月明かりに照らされたシルエットは水面から顔を出し紛れもない西口のシルエットに変わる。

【終】

※ご利用上の注意※

- ・ 本脚本はどなたでも無料にてご利用いただけます。
- ・ ご利用に当たつての改変などに制限は設けておりません。皆様のご都合に応じて自由に改変頂いてかまいません。
- ・ 本脚本をご利用頂く際は必ず作者 (gumba127@hotmail.com) までメールで報告頂きますようお願い致します。
- ・ 但し、練習での使用などの場合はご連絡の必要はございません。
- ・ 連絡が必要かどうかの基準は以下の通りでございます。

※連絡不要の場合

- ・ 仲間内で集まつての練習でのご利用。
- ・ Skype などを紹介しての第三者の聴取・視聴が出来ない形でのご利用。

※連絡が必要となる場合

- ・ ツイキャスやニコ生など第三者の聴取・視聴が可能な状況下でのご利用。
- ・ 連絡を要する形でのご利用の際は、必ず作品名・作者名をどちらかに記載いただけますようお願い致します。

その他ご不明な点がございましたらお気軽に下記までご連絡下さい。

sunbca1227@hotmail.com (岩本)